

## 南極昭和基地での長期地磁気観測

## Long-term geomagnetic field observation at Syowa Station in Antarctica since 1966

佐藤 夏雄<sup>1\*</sup>, 門倉 昭<sup>1</sup>

SATO, Natsuo<sup>1\*</sup>, KADOKURA, Akira<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 国立極地研究所

<sup>1</sup> National Institute of Polar Research

南極の昭和基地は IGY (国際地球観測年) の 1957 年 1 月に開設された。昭和基地では 1966 年以来磁場観測はフラックスゲート磁力計による磁場 3 成分変動観測とプロトン磁力計による磁場強度観測を連続的に実施している。昭和基地での磁場観測データはオーロラ現象の研究等に重要な情報を提供している。この昭和基地での長期連続観測から、磁場の絶対強度は年々減少していることが明らかになっている。柿岡地磁気観測所は昭和基地の地磁気観測システムの精度維持や観測隊出発前の担当隊員の事前訓練などに大きな貢献をしている。

キーワード: 地磁気, 磁気計, 昭和基地, 南極, オーロラ, 磁気嵐

Keywords: magnetic field, magnetometer, Syowa Station, Antarctica, aurora, magnetic storm